

次世代健康管理対策の旗振り役へ

定期健診結果活用へサポート体制が大事

昨年NPO法人ヘルスケアネットワーク(OCCHIS)は、8月に国土交通省から発出された「自動車運送事業者における睡眠時無呼吸症候群(SAS)対策マニュアル」の執筆という大役を仰せつかり、11年間で築きあげたSAS対策の啓発からフォローまでのノウハウをお示しすることができ、そして何より嬉しく思うことは、単なるSASスクリーニング検査機関に留まらず、検査後のフォローまでの地道なサポートを国土交通省から高く評価され、今回の執筆につながったことです。

へ、具体的なアドバイスとして健康管理は、業界を悩ましていた深刻なドライバー不足や高齢化の問題とも決して「別物」ではありません。すでに関係者が英知を絞り、これ定期健康診断の活用です。この「玉の山」ともいえる健診結果を見落としてはならないと考えます。ところが、多くの中小運輸事業者の場合は、受診させるだけで精いっぱい。本人も「毎年こんなもの」と、平気で異常値を放置しているという現状があります。



OCCHIS 作本貞子副理事長

「健康管理を事故防止対策から切り離して考える時代はすでに過ぎ去ろうとしています。その位置は...と考えると、やはりOCCHISのルール読み取れることは専門的で難しいし、面倒で時間のかかる作業です。したがって次に求められているのは、もっと簡単に健診結果がチェックでき、現場目線にこだわったシステムのサポート体制です。ここに踏み込んで手を差し伸べなければ、事業者は次のステップまで進みきれず途中でギブアップしてしまいます。これでは行政や協会の指導や各マニュアルでさえも「絵に描いた餅」になりかねません。」

「健康管理を事故防止対策から切り離して考える時代はすでに過ぎ去ろうとしています。その位置は...と考えると、やはりOCCHISのルール読み取れることは専門的で難しいし、面倒で時間のかかる作業です。したがって次に求められているのは、もっと簡単に健診結果がチェックでき、現場目線にこだわったシステムのサポート体制です。ここに踏み込んで手を差し伸べなければ、事業者は次のステップまで進みきれず途中でギブアップしてしまいます。これでは行政や協会の指導や各マニュアルでさえも「絵に描いた餅」になりかねません。」

「健康管理を事故防止対策から切り離して考える時代はすでに過ぎ去ろうとしています。その位置は...と考えると、やはりOCCHISのルール読み取れることは専門的で難しいし、面倒で時間のかかる作業です。したがって次に求められているのは、もっと簡単に健診結果がチェックでき、現場目線にこだわったシステムのサポート体制です。ここに踏み込んで手を差し伸べなければ、事業者は次のステップまで進みきれず途中でギブアップしてしまいます。これでは行政や協会の指導や各マニュアルでさえも「絵に描いた餅」になりかねません。」

「健康管理を事故防止対策から切り離して考える時代はすでに過ぎ去ろうとしています。その位置は...と考えると、やはりOCCHISのルール読み取れることは専門的で難しいし、面倒で時間のかかる作業です。したがって次に求められているのは、もっと簡単に健診結果がチェックでき、現場目線にこだわったシステムのサポート体制です。ここに踏み込んで手を差し伸べなければ、事業者は次のステップまで進みきれず途中でギブアップしてしまいます。これでは行政や協会の指導や各マニュアルでさえも「絵に描いた餅」になりかねません。」